

第2回 新城市若者政策ワーキング

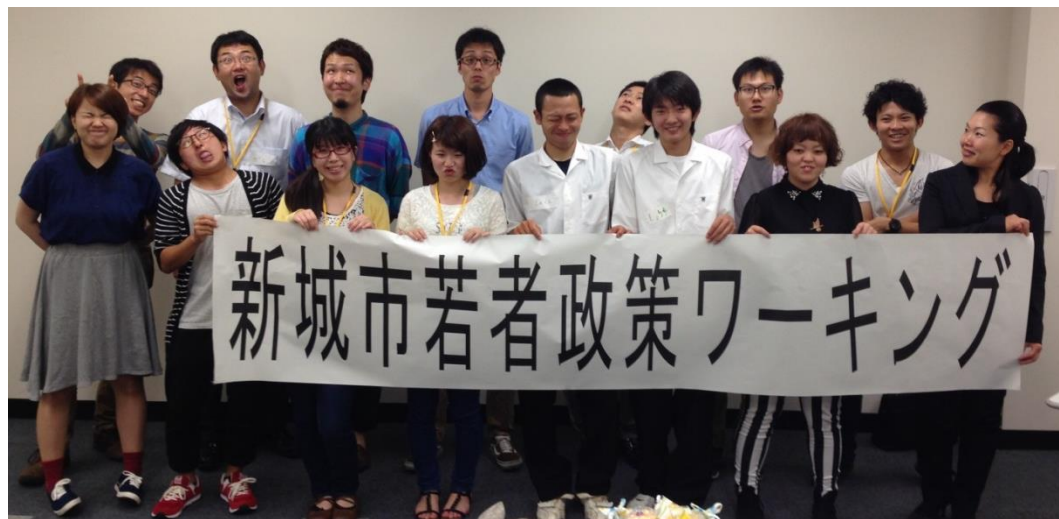
ニュースレター No.2

開催日時：2014/06/12

場所：新城消防本部 1階 研修室

参加者：15名

- ・自己紹介(地域おこし協力隊)
- ・前回のおさらい
- ・ニューキャッスルアライアンス
会議の報告
- ・グループワーク①、②
- ・その他



「前回のおさらい」

辞令交付、メンバーの自己紹介から始まり、穂積市長、松下教授の講話。後半では、若者が「住みたくなるまち」、「活躍できるまち」とはどんなまちかをグループに分かれてまとめました。

第2回若者政策ワーキングでは、前回の結果を受け、隠れたまちのコンセプトを探します。



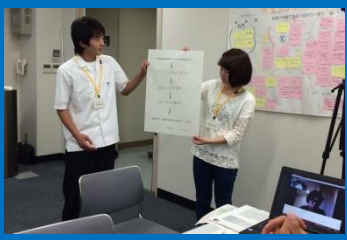
鈴木孝浩さん 浅井理孝さん

今年度から活躍中の地域おこし協力隊員の4名がメンバーとして加わりました。

普段地域との関わり合いの中で出てくる様々な課題・想いなどをワーキングを通して若い世代と一緒に話合っていくことで、メンバーにとっていい刺激になってくると思います。

「アイスブレイク」

始まりと終わりが決まっている物語の中にオリジナルストーリーを追加し物語を完結させるゲームです。



杉木里帆さん

「ニューキャッスルアライアンス会議の報告」



4月28日～5月5日、チェコに各国のニューキャッスルと名のつく国々の若者が集まって、若者が抱える問題について話し合うニューキャッスルアライアンス会議に新城の代表として参加した。ヨーロッパでは、16歳から25歳までの若者が選挙で選ばれ構成される「ユース議会」がある。そこでは若者が市政に参加でき、若者の声を軽視しない、重要視する風潮がある。

新城にも若者が市政に参加でき、意見が反映される仕組みがあればいい。ヨーロッパの仕組みをそのまま真似するのではなく、未来の新城の若者のために、この若者政策ワーキングで新城独自の仕組みを作っていきたい！！

ワークショップ① 「コンセプトを出そう！」



前回のワークショップでまとめた若者が「住みたく（活躍できる）まち」の中から隠れたキーワード（コンセプト）を探しだしてみよう☆

「Aグループ」

- 若者の意見が反映されるまち
- (古) 城下町
- ど田舎なのに住み続けられるまち
- 社会の荒波にもまれ疲れ果ててしまったあなたへ 癒しのまち



「Bグループ」

- 自然の中で働けるまち
- イベントがあふれるまち
- 歴史にふれられるまち
- 自由に空をはばたけるまち
- 遊べるまち



「Cグループ」

- 若者が文化祭ができるまち
- タイムスリップできるまち
- 男女が運命的に出会えるまち
- トトロがいるまち
- 子育てしやすいまち



「まとめ」

今回はまちのコンセプトを基に新城の現状の課題をあげ、その具体的な解決策を検討しました。会議室で考えるだけでは足りない視点を今後はどう補っていくか次回ワーキングで作戦を練っていききたいですね！

ワークショップ② 「新城のウィークポイントと未来予想図」

出たコンセプトを一つに絞り、新城がそのコンセプトのまちになるために現段階の足りないところとその改善策を話し合おう★

Aグループ 「ど田舎なのに住み続けられるまち」

weak point !

「引っ越ししてまで入学させたい学校がない」



未来予想図 !

『市内の小学校
完全英語化』

Bグループ 「イベントで遊べるまち」

weak point !

「若者が集まれる機会がない、色々な施設を活用できていない」



未来予想図 !

『ラウンドワンみたいな
様々なスポーツフェス大会の開催』

Cグループ 「タイムスリップできるまち」

weak point !

「馬防柵の当時のイメージが湧かず、魅力的ではない」



未来予想図 !

『景観を整え、専門的なガイド、戦国アイドルを交えて体験型ツアーを開催』

* * * * * 修学旅行のお知らせ * * * * *

9月15、16日に修学旅行（福井県鯖江市地域活性化プランコンテスト視察）を計画しています。

地元の資源、課題などを上手に活用し
政策を練り上げる方法を学びに行きます♪♪

